

## 【エクアドル経済:2013年1月－3月】

### 1. 1 月

#### (1)最低課税対象所得

2日、エクアドル国税庁(SRI)は、所得税にかかる最低課税対象額を10,180米ドルとする旨公表した。所得税は5～35%の累進課税であり、課税対象額は、総収入から医療費、教育費、服飾費、食費、住居費などを差し引くことで算出される。また、総収入の50%、もしくは、13,234米ドルまで控除が可能である。

#### (2)消費者信頼指数、消費者物価上昇率および基本生活維持費(CBF)

3日、エクアドル国家統計調査局(INEC)は、2012年12月の消費者信頼指数は、46.7ポイントで前月比2.2ポイント増加した旨発表した。また、2012年の消費者物価上昇率は、4.16%、基本生活維持費は597.70米ドルとなった旨公表した。

#### (3)2012年の税収

8日、エクアドル国税庁は、2012年の税収が112億6,700万米ドルに達した旨公表した。

#### (4)原油生産高

10日、非再生可能天然資源省は、2012年の原油生産高が日産50.4万バレルに達した旨公表した。2010年は、日産48.6万バレル、2011年は、日産50万バレルだった。同省によれば、低迷していた生産高を回復させるため16.7億米ドルに及ぶ投資を行ったとのことである。

#### (5)エビの禁漁期間の開始

14日、農牧水産漁業省は、水産資源維持のため、例年同様、イセエビやロブスターなどの大型エビを16日から6ヶ月間禁漁とする旨公表した。

#### (6)エクアドル中央銀行(BCE)理事会議長の任命

16日、モレノ副大統領は、経歴詐称問題で辞任したペドロ・デルガド前エクアドル中央銀行理事会議長の後任として、ディエゴ・マルティネス元高等教育科学技術刷新庁(SENESCYT)副長官を任命した。

マルティネス議長は、1978年生まれの34歳。カトリカ大学経済学部卒業後、オランダの社会科学研究所にて修士号を取得し、2007年より国家開発計画庁(SENPLADES)にて副長官などを務め、2012年12月にSENESCYT副長官に就任したばかりだった。

#### (7)中国との二重課税防止にかかる協定

21日、エクアドルにおいて、中国との二重課税防止にかかる協定の調印式が行われた。エクアドル側からは、パプロ・ビジャゴメス外務次官、カルロス・マルクス・カラスコ国税庁(SRI)長官、中国側からはシャオ(Xiao Jie)使節団長、ユアン(Yuan Guisen)駐エクアドル中国大使が出席した。

## 2. 2 月

### (1)リオナポ社の原油生産高

4 日、ペトロアマソナス公社とベネズエラ国営石油公社 (PDVSA) との合併会社であるリオナポ社は、2012 年の原油生産高が前年比 0.82 万バレル増の日産 5.77 万バレルに達した旨を発表した。同社によれば、2013 年は、日産 6.9 万バレルを見込んでいる。

### (2)貧困率の減少

5 日、エクアドル国家統計調査局 (INEC) は、前回 2006 年の調査では 37.60% だった貧困率が 9.29% 減少し、27.31% になった旨発表した。エクアドルでは、1 日当たり 2.54 米ドル以下の収入が貧困の基準となっている。

### (3)1 月の消費者信頼指数, 消費者物価上昇率

6 日、エクアドル国家統計調査局 (INEC) は、1 月の消費者信頼指数は、45.7 ポイントで前月比 1.0 ポイント減少した旨および、同月の消費者物価上昇率を前年同月比 0.07% 減少の 0.50% と発表した。

### (4)2012 年 12 月の石油燃料消費量

8 日、エクアドル中央銀行 (BCE) は、2012 年 12 月の石油燃料消費量が、775.2 万バレルだった旨発表した。

### (5)マリスカル・スクレ国際空港の移転

マリスカル・スクレ国際空港がキト市内から郊外に移転し、19 日、新空港の操業が開始された。開港式典には、コリア大統領、モレノ副大統領、バレラ・キト市長、コルデロ国会議長らが出席した。コリア大統領は、「新空港は、エクアドルの発展のための全国的なモビリティシステムの一部である」旨述べ、新空港の操業開始を祝した。

### (6)ドイツによるヤスニ ITT プロジェクトへの援助

22 日、エクアドルを訪問中のハンス・ユルゲン・ベアヘルツ独経済協力開発副大臣は、ヤスニ地区の生物多様性保護のためヤスニ ITT プロジェクトに対し 3,450 万ユーロを供出する旨明らかにした。

### (7)2012 年の国内総生産 (GDP) 速報値

26 日、エクアドル中央銀行 (BCE) は、2012 年の国内総生産 (GDP) 速報値を 641.9 億米ドル (実質 2007 年ベース)、前年比 5.00% と発表した。マルティネス BCE 理事会議長は、「5.00% という成長率は素晴らしいものであり、エクアドル経済が健全であることを示している。」旨述べた。また、経済統計の基準年を 2000 年から 2007 年に変更する旨発表された。

### (8)46 品目の食料品に対する価格統制

27 日、コリア大統領は、食料品の価格上昇を抑制するため、肉、牛乳、果物及び野菜など 46 品目の食料品に対する価格統制を実施する旨の大統領令を出した。毎月 5 日までに農牧水産漁業省及び産業生産力省のホームページにおいて価格が公表される。期間は 27 日から 90 日間。

### 3. 3 月

#### (1)1 月の石油燃料消費量

14 日、エクアドル中央銀行(BCE)は、1 月の石油燃料消費量が、757.8 万バレルだった旨を発表した。

#### (2)人間開発指標(HDI)の発表

15 日、ディエゴ・ソリージャ国連開発計画(UNDP)エクアドル担当調整官は、2012 年のエクアドルの人間開発指標(HDI)は、0.724 で世界第 89 位だった旨を発表した。

#### (3)海外からの直接投資の促進

20 日、エクアドル外務省は、今後 4 年間で 1,850 万米ドルの予算を費やし、金属機械工業、石油化学、バイオテクノロジー、生鮮及び冷凍食品、製薬、観光、再生可能エネルギー及び物流管理サービス分野に対する海外からの直接投資を促進する計画を発表した。

#### (4)サンティアゴ・レオン生産雇用競争力調整大臣の辞意表明

28 日、サンティアゴ・レオン生産雇用競争力調整大臣は、辞意を表明した。辞任の理由及び後任等は明らかにされていない。